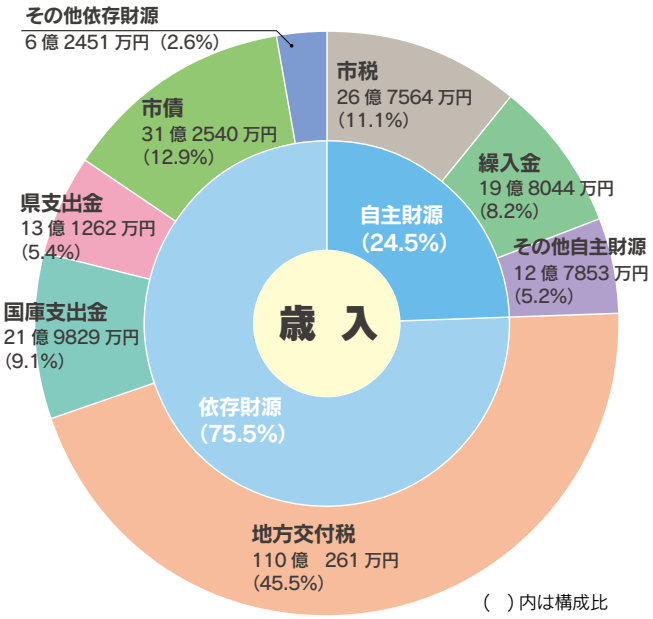


歳入の内訳

項目	予算額	対前年比
市税	26億7564万円	▲ 4.6%
自主財源	26億7564万円	▲ 4.6%
皆さんから納められる市民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税など（国保税は含まず）		
繰入金	19億8044万円	12.0%
使うお金が財源よりも不足している場合に、積み立てた基金から一般会計に繰り入れるお金		
その他自主財源	12億7853万円	▲ 3.1%
分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰越金、諸収入		
依存財源	110億261万円	▲ 0.2%
地方自治体間の財政の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスができるよう国から交付されるお金		
国庫支出金	21億9829万円	0.3%
国の補助事業に対する国からのお金。これに県や市のお金を合わせて各種事業が行われる。		
県支出金	13億1262万円	3.1%
県の補助事業に対する県からのお金。これに市のお金を合わせて各種事業が行われる。		
市債	31億2540万円	▲ 1.4%
市が各種の事業を行うために借り入れたお金		
その他依存財源	6億2451万円	▲ 19.2%
地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金		
合計	241億9804万円	▲ 0.5%



一般会計歳入

歳入の11・1%を占める市税は26億7564万円、前年比4・6%の減、歳入で最も大きな比率を占める地方交付税は110億261万円と0・2%の減、財源不足を補うために基金から繰り入れる繰入金には19億8044万円と12・0%の増となっております。

上のグラフでお解りのとおり、本市の財政構造は、市税などの自主財源は全体の4分の1未満で、残りの4分の3を地方交付税や補助金、市債などの依存財源に頼る状況となっております。しかし本市が依存するこれらの財源は、今後継続して減少することが予想されており、引き続き慎重な財政運営が求められています。

平成21年度
三好市
当初予算

平成21年度当初予算が三好市議会3月定例会で承認されました。本年度予算は現在の厳しい財政状況を踏まえ、人件費や物件費などでさらなる削減を図り、従来から実施している事業についても、目的・効果・緊急性・将来の財政負担等を、慎重に検討した予算としています。

また世界的経済危機を踏まえた国の経済対策と歩調を合わせ、三好市においても、平成20年度補正予算から平成21年度当初予算にかけて継続した予算となるよう、公共事業等を中心とした雇用創出等を積極的に図り、暮らしの安心に向けた事業に取り組むこととしています。新規事業としては、義務教育施設の耐震化事業としての設計調査費、道の駅大步施設整備事業、企業立地奨励金等も計上しています。

さらに銀行からの借入金を繰上償還して将来の返済の低減を図り、今後のまちづくりにも備えた基金積立なども引き続き計上しています。



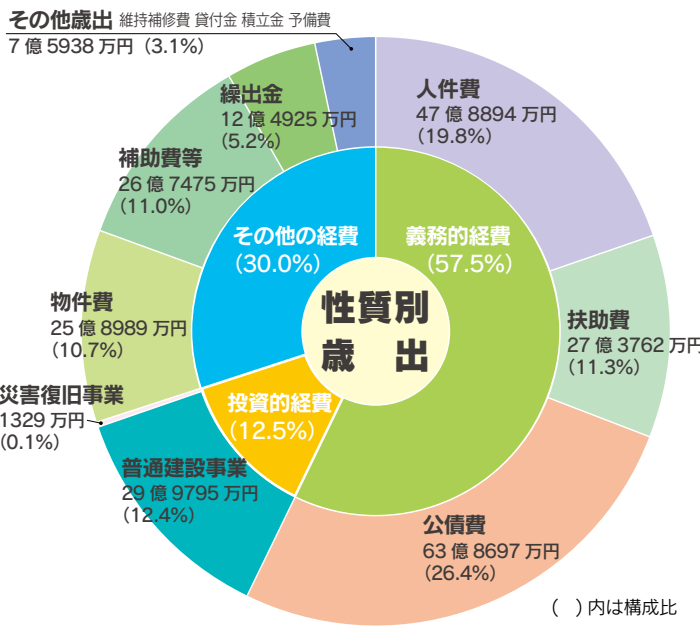
人件費・扶助費・公債費などの義務的経費は、139億1353万円で、2・5%の減となりましたが、歳出総額に占める割合は57・5%と依然高い比率を占めています。

公債費は、借入れたお金の元利償還金や繰上償還金により26・4%と、義務的経費の中で最も高い比率となっております。

普通建設事業・災害復旧事業などの投資的経費は、30億124万円で、7・4%の減となり、歳出総額に占める割合は12・4%となっております。減となった要因は、池田中学

校整備事業費9億7134万円が減少したことによるものです。主な事業としては、市道及び林道の道整備交付金事業（6億6443万円）、地域再生中心市街地地区整備事業（4億2428万円）、小中学校施設（耐震化調査設計事業（8450万円））などです。

その他の経費は、72億7327万円で6・8%の増となり、歳出総額に占める割合は、30・1%で前年度より2・1ポイント上昇しています。内訳は物件費が25億8989万円、これは、地籍



一般会計性質別歳出

平成21年度三好市一般会計予算
241億9803万9千円



当初予算に計上された主な事業

一般会計

総務費

コンビニ・クレジット収納対応事業 2048 万円
地域活性化・生活対策事業 1 億9763 万円

衛生費

妊婦一般健康診査経費 2043 万円

農林水産業費

農道整備事業 1 億2605 万円
林道整備事業 3 億2207 万円

商工費

企業立地奨励金 1620 万円
道の駅大歩危施設整備事業 3800 万円
JR大歩危周辺整備事業 3595 万円

土木費

市道整備事業 17 億3573 万円

消防費

消防車両購入事業 3007 万円

教育費

幼・小・中学校耐震診断事業 3157 万円
辻小学校改築設計地質調査事業 3040 万円
東祖谷小学校統合設計地質調査事業 2035 万円
東祖谷中学校改築設計等事業 2395 万円
伝統的建造物 長岡家修理事業 2027 万円
国重要文化財 小采家修理事業 1775 万円

公債費

繰上償還 4 億 484 万円

特別会計

農業集落排水事業費

国道改良管路移設工事 6300 万円
機能強化対策事業 4088 万円

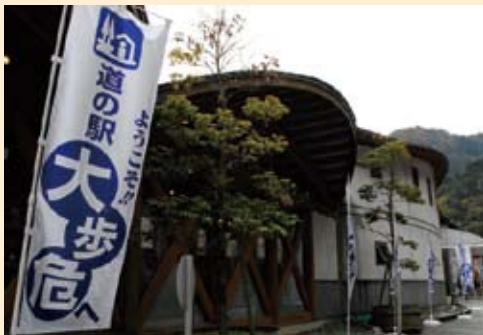
簡易水道事業費

山城川口簡易水道拡張事業 9100 万円
三野簡易水道改良事業 1 億 1595 万円
繰上償還 7282 万円

上水道事業費

上水道老朽管更新事業 6258 万円
西山地区 12 期拡張事業 9860 万円

(万円未満を四捨五入)



特別会計

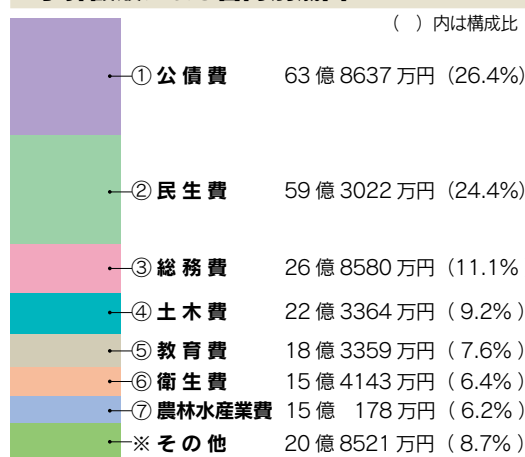
井内財産区	343 万円
ケーブルテレビ事業	3 億 7013 万円
住宅新築資金	461 万円
国保 (事業)	40 億 649 万円
国保 (直診)	2 億 2320 万円
老人保健	1203 万円
後期高齢者	4 億 3411 万円
特養長生園	1 億 9734 万円
浄化槽事業	1 億 2145 万円
農業集落排水事業	1 億 3170 万円
土地取得事業	430 万円
給食事業	1 億 4248 万円
簡易水道事業	6 億 8818 万円
井川スキー場	1 億 9615 万円
水道事業会計	3 億 3856 万円
病院事業会計	7 億 1671 万円

ケーブルテレビ事業特別会計は前年度比68・7%減の3億7013万円の計上です。昨年度までの加入者系整備事業の完成により大幅な減額となっています。

老人保健特別会計は、前年度からの後期高齢者医療制度導入に伴い医療給付費の減により前年度比98・3%減の1203万円の計上です。簡易水道事業特別会計は、6億8818万円の計上で、今年度完成予定の三野地区と川口地区の工事費2億695万円を計上、水道事業会計は池田町で実施の公営企業会計で、今年度より実施する西山地区の第12期拡張事業等を計上しています。

特別会計

予算額順による目的別歳出



※ その他の内訳
消防費…7 億 4496 万円 (3.1%) 議会費…1 億 9587 万円 (0.8%)
商工費…6 億 1109 万円 (2.5%) 災害復旧費…1329 万円 (0.1%)
諸支出金…5 億円 (2.1%) 予備費…2000 万円 (0.1%)

目的別歳出の内訳

項目	予算額	対前年比
議会費	1 億 9587 万円	▲ 5.4%
議員報酬など、議会の運営に要する経費。		
総務費	26 億 8580 万円	17.4%
職員や各種委員の件費など、管理事務に要する経費。		
民生費	59 億 3022 万円	▲ 1.3%
医療費の助成など、社会福祉向上に要する経費。		
衛生費	15 億 4143 万円	0.5%
保健活動やごみ・し尿処理などに要する経費。		
農林水産業費	15 億 178 万円	13.5%
農林道の整備費など、農林水産業に要する経費。		
商工費	6 億 1109 万円	19.4%
商工業振興や観光振興などに要する経費。		
土木費	22 億 3364 万円	23.1%
市道整備や市営住宅建設など、土木工事に要する経費。		
消防費	7 億 4496 万円	▲ 0.5%
消防団の運営費など、消防活動に要する経費。		
教育費	18 億 3359 万円	▲ 35.7%
学校施設の整備費や教育、スポーツ振興に要する経費。		
災害復旧費	1329 万円	▲ 5.1%
市道などが受けた災害の復旧に要する経費。		
公債費	63 億 8637 万円	▲ 1.8%
市が事業を行うために借り入れたお金に対する返還金。		
その他歳出	5 億 2000 万円	0.0%
基金造成のための諸支出金及び予備費		
合計	241 億 9804 万円	▲ 0.5%

歳出を目的別に分類すると、最も額が多いのは、借金返済のために使われる公債費、次に福祉等に使われる民生費の順となりました。増減の大きな費目を見てみると、商工費は、企業立地奨励金、道の駅大歩危施設整備、JR大歩危駅周辺整備による増、土木費では、地方道路交付金及び道整備交付金事業

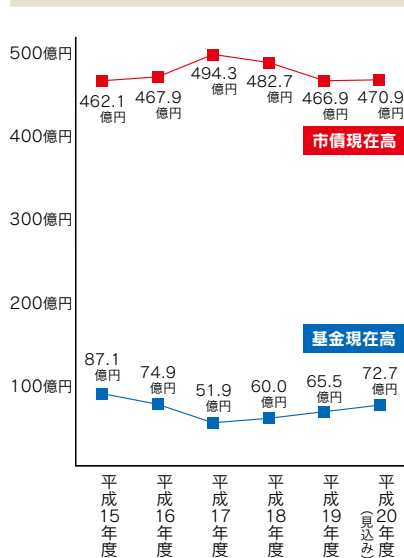
一般会計 目的別歳出

調査業務(1億1706万円)、システム導入費(6394万円)などが主な増額の要因となっています。補助費は後期高齢者療養給付費負担金(6810万円)、観光圏協議会負担金(2476万円)などが主な増額の要因で、5・5%増の26億7475万円となっています。

投資及び出資金については、上水道事業会計への出資金として3188万円などにより、214・0%増の4120万円、積立金は、合併特例債を活用しての基金積立(5億円)が主なもので、2・1%増となっています。

平成20年度末の市債(借金)の残高は、470億8747万円の見込みで、加入者系整備事業及び池田中学校整備事業などのプロジェクト

基金と市債の推移



平成20年度末の市債(借金)の残高は、470億8747万円の見込みで、加入者系整備事業及び池田中学校整備事業などのプロジェクト

事業が集中したことにより、前年度比3億9367万円の増となっています。基金(貯金)の現在高は72億7496万円で、前年度比7億2577万円の増と見込まれています。基金現在高増の主な要因は、合併特例債及び地域活性化生活対策交付金を活用し、積み立てたまちづくり基金6億9000万円によるものです。

市債(借金)と基金(貯金)の現在高

平成21年度予算で市民1人当たりに使われるお金は…

- 社会福祉のために 183,071 円
- 保健・衛生のために 47,585 円
- 産業振興のために 65,226 円
- 道路の整備などに 68,954 円
- 教育・文化のために 56,605 円
- 消防・災害活動に 23,408 円
- 借金返済のために 197,153 円
- その他生活の向上に 105,013 円
- 市民一人あたりの支出 747,015 円
- 市民一人あたりの市税 82,599 円

※ 目的別歳出の額を平成21年4月1日現在の人口(32,393人)で割ったものです

平成21年度三好市一般会計予算

241億9803万9千円

